

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 15

2009年4月21日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今月号より、新コーナー“静大ラボ紹介”がスタートしました。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 第51回『産学官交流』講演会・交流会のご案内
2. 「JDreamII 研修会（静岡）」のご案内
3. 「静岡大学創造科学技術大学院第一回研究フォーラム」のご案内
4. 「PCTセミナー（浜松）」を開催します
5. 「静岡大学生物産業創出推進拠点 第20回研究会」を開催します
6. 「JDreamII 研修会（浜松）」のご案内
7. 「第3回ビジネスマッチング in Hamamatsu 2009」に出展します
8. 静岡大学「共同研究に関するアンケート調査報告書」のご紹介

1. 第51回『産学官交流』講演会・交流会のご案内

日時 2009年4月21日（火）17：00～19：30
会場 清水商工会議所（産業情報プラザ3階）
主催 静岡市清水産業・情報プラザ
共催 しみず新産業開発振興機構
内容 1. 静岡大学工学部機械工学科准教授 早川邦夫
『塑性加工工具の損傷・破壊の予知技術の開発』
2. 静岡大学工学部物質工学科教授 前田康久
『光電極プロセスによる水の浄化と水溶液中の化学物質の検出』
※ポスター展示もあります。
参加費 無料（交流・懇親会参加者は1,000円）
定員 60名
問合先 清水商工会議所新産業振興室 担当 相磯、赤堀、水越
TEL（代）054-355-5400

2. 「JDreamII 研修会（静岡）」のご案内

日時 2009年5月22日（金）13：00～16：30
会場 静岡市清水産業・情報プラザ（清水商工会議所）
コース JDreamII 入門コース
対象 初めてJDreamIIをご利用いただく方
参加費 無料
申込/詳細 https://pr.jst.go.jp/order/JDream2sem/JDream2sem_schedule.asp?m=5
問合先 科学技術振興機構（JST）名古屋デスク 担当 北川
TEL 052-829-3751

3. 「静岡大学創造科学技術大学院第一回研究フォーラム」のご案内
【光・ナノ世界への新たな挑戦 — 光を掴め！ —】

日時 2009年5月25日（月）13：30～15：30
場所 静岡大学創造科学技術大学院 4階会議室
内容 1) 新規シリサイド系材料によるナノ構造制御と光特性

- 立岡浩一 准教授
2) 多チャンネルファイバ・ブラッググレーディングに関する
研究及びその分散補償器と多波長ファイバレーザへの応用
李 洪譜 准教授
3) 新しい構造を持つ半導体レーザにおける安定、不安定、
カオスと制御 大坪順次 教授

参加費 無料
申込方法 電話またはFAXで、①お名前 ②ご所属をご連絡下さい。
問合せ 静岡大学創造科学技術大学院 担当 杉浦敏文
TEL 053-478-1328 FAX 053-478-1359 (創造大学院係)

4. 「PCTセミナー（浜松）」を開催します

日時 2009年5月26日（火）13:30～16:00
場所 アクトシティ浜松コンgresセンター44会議室
主催 国立大学法人静岡大学、東海iNET
有限責任中間法人大学技術移転協議会
内容 1. 講演（PCT制度の概要ほか）
2. 質疑応答及び意見交換
講師 高橋 宣博（WIPO国際協力部 カウンセラー）
定員 50名（先着順）
参加費 無料
申込/詳細 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>
申込締切 5月11日（月） 定員になり次第締切とさせていただきます。
問合せ 静岡大学知的財産本部 TEL 053-478-1414

5. 「静岡大学生物産業創出推進拠点 第20回研究会」を開催します

日時 2009年5月29日（金）13:00～16:50
場所 静岡市産学交流センター B-nest7階 大会議室
タイトル 『21世紀を見据えたバイオ産業』
参加費 会員及び学生…無料
非会員…1,000円
申込/問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター
静岡オフィス内・事務局 平岡 TEL 054-238-4631

6. 「JDreamⅡ研修会（浜松）」のご案内

日時 2009年6月18日（木）13:00～16:30
会場 浜松市地域情報センター
コース JDreamⅡ入門コース
対象 初めてJDreamⅡをご利用いただく方
参加費 無料
申込/詳細 https://pr.jst.go.jp/order/JDream2sem/JDream2sem_schedule.asp?m=6
問合せ 科学技術振興機構（JST）名古屋デスク 担当 北川
TEL 052-829-3751

7. 「第3回ビジネスマッチング in Hamamatsu 2009」に出展します。 Go Challenge! ～“地球に優しく” 未来のために～

日時 2009年7月21～22日（21日10:00～17:00, 22日10:00～16:00）
場所 浜松市総合産業会館（浜松市東区流通元町20-2）

主催 浜松商工会議所 浜松信用金庫
共催 遠州信用金庫 はましん経営塾
主旨 地元中小企業にビジネスマッチングの「出会いの場」を提供し販路
拡大・受注確保などのビジネスチャンスの機会創出を強力にバック
アップします。また、大学・支援機関も参加し連携をいっそう強め、
地元企業および地域の活性化推進を目的として開催します。
今回は特に「環境」をテーマを絞り、当地区の優れたものづくりを
PRします。展示参加数は、約130機関です。
内容 展示商談会、出展企業個別商談会、販路開拓支援相談会、
経営・技術相談会
入場料 無料
担当 静岡大学学術情報部産学連携チーム TEL 053-478-1667

8. 静岡大学「共同研究に関するアンケート調査報告書」のご紹介

2009年3月18, 19日開催の静岡大学産学連携レビューで一部報告致しました「共同研究に関するアンケート調査報告書」をWebで公開しましたので、ご紹介いたします。

本報告書には、静大との共同研究における企業の皆様からの率直なご意見を様々な観点から分析した結果と考察が収録されています。また後半には、他に類を見ない「テキストマイニング」による解析結果を収録しています。これは「理想的な共同研究の姿」や「静岡大学との産学連携イメージ」等、本調査に寄せられた自由回答文を“生の声”のまま傾向把握したものとなっています。ここから、静岡大学との共同研究や産学官連携の特徴や、強み・弱みだけでなく、今後皆様にとって益々有用な共同研究を提供できるよう推進体制を強化していこうとする静岡大学の取組姿勢を読み取って頂けるものと思います。

これまで静岡大学との共同研究の実態が掴めず、何となく静大との共同研究に一步踏み出すことができなかつた企業様や、共同研究は実施してきたがなかなか思うような成果を得ることが難しかった方にも必見です！ぜひ一度ご覧ください。

冊子をご希望の方は、下記問合先までご連絡ください。
<<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/wn04.html>>

《 静大ラボ紹介 -1- 》

創造科学技術大学院 准教授 近藤淳研究室

皆さんがお持ちの携帯電話には、たくさんの弾性表面波（SAW）素子が使われています。近藤研究室では、このような電子部品を利用したセンサやアクチュエータを研究開発しています。

近藤先生は、横波型弾性表面波（SH-SAW）の分野で基礎研究から応用までの世界の第一人者です。

ところで、暗闇で鼻をつまんで果汁100%のオレンジジュースとアップルジュースを区別するのは意外に難しいこと、ご存知ですか？

先生のセンサは11種類もの果汁100%清涼飲料水の識別ができます。つまり、このセンサは人間の味覚以上の性能を持っているといえます。その他、SH-SAWセンサは液体の粘度、密度、導電率、誘電率などを計測できます。ダイレクトメタノール燃料電池におけるメタノール水溶液の濃度測定もその応用例です。（記：斉藤久男）

《 みんなのコラム 》

先日、県内中小企業の集まる勉強会でイノベーション共同研究センターの業務について説明させていただく機会がありました。その中で、「大学との共同研究費は昨年度の実績で1件平均100万円程度なんですよ。」と話したところ、「大学との共同研究って聞くと何千万円も用意しなくちゃならないと思ったよ。」とか、「簡単に技術相談ができることも知らなかったし、技術相談から共同研究にステップアップするものもあるとは知らなかった。」といった驚きの声を聞きました。実際のところ、静大イノベーション共同研究センターの存在すら知らない経営者もいらっしゃるくらいで、社会貢献を前提として静大を地域企業に気軽に活用してもらうためには、今まで以上に積極的なPR活動が必要だと痛感しました。つまり、私たちが思っている以上に大学の敷居ってものが相当高いということで、大学の中にと聞こえてこない地元中小企業の意見や要望を聞くためにもフットワークの軽さが必要なんだと感じました。大学は教育機関であり研究を行う学術機関でもあるのは当然なのですが、一方で地域企業にとって強力な支援機関でもあるべきだと思います。静大が地域のための静大でもあり続けるために、これからも企業目線で走り続けようと思っています。(記：鈴木俊充)

《 編集後記 》

今年もイノベーション共同研究センター横の桜が見事に咲きました。桜舞い散る南門を出入りする学生の声も春めいて華やかです。大学の4月は新学期。先日は新任を含めた教職員対象の“しずだいで産学連携ガイダンス”を開催し、私達の活動とサービスを説明しました。静岡大学と皆様との産学連携が良い成果に結びつくよう、サポートする私達も新たな気持ちでこのスタートラインに立ちたいと思っています。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp までお願いします。(↑送付の際は〇欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター
編集：原典子
編集責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL053-478-1414

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —
by Copyright(c)2008-2009 Innovation and Joint Research Center,
Shizuoka University. All rights reserved